

国語の学習方法

1 予習について

- ① 教科書を音読する。(読めない文字や意味の分からない語句をチェックする。特に、新出漢字や新出音訓は、自主勉強ノートや漢字ワークに書いて覚える。)
- ② 分からない語句は、辞書などを使い、調べてまとめておく。(語彙力を高めるためには大事なこと。)
- ③ もう一度読み、感想や疑問点をまとめておく。



2 授業について

- ① 忘れ物は絶対にしない。
- ② 先生の説明や友達の意見を集中して聞く。
- ③ ノート・学習プリントは丁寧・正確にまとめていく。(自分なりに色ペンやイラストなどで工夫する。)
- ④ 自分の考えを文章に書き、発表したり、友達と意見交換をしたりする中で、自分の意見を確立させる。

3 復習について

- ① 学んだ漢字を何度も繰り返し書いて覚える。(①一点一画正確に書く。②音読み訓読み両方の使い方を理解する。③見る・音読・聞く・書くなどの感覚を意識する。)
- ② 授業のノートや学習プリントを見て、もう一度ポイントをまとめてみる。
- ③ ワークやプリントの問題をもう一度やってみる。特に間違ったところを理解するまでやり直しておく。
- ④ 授業に関連した作品を読む。

4 テスト対策

〔漢字・語句〕

- ① 漢字は一点一画正確に書く習慣を身につけ、繰り返し書いて覚える。
- ② 四字熟語・対義語・類義語・同音異義語・同訓異字・慣用句・ことわざなどの意味を理解するため、毎日少しずつ覚える。
- ③ 文法は学習したところを復習し、その後で問題を解いてみる。分からない問題は質問し理解しておくこと。(苦手な場合は、必ず最初からやり直してみること。)
- ④ 行書は、(連続・変化・省略)を意識して書いて覚える。

〔文章問題〕

- ① 文学的文章は、登場人物の心情を読み取っていくことが中心。情景描写や会話などから登場人物の思いに近づいて、心の動きを読み取っていくようにする。
- ② 説明的な文章は、段落ごとの要点をキーワードに気をつけてとらえていくことが大切。(キーワードには線を引く。)特に指示語や接続語などから、各段落の役割をつかんでいく。そして問いの答えを文章の中から速くていねいに読み返しながらか、探していくこと。必ず文章中に答えがあるはずだ。

〔古典〕

- ① まずは、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直せるようにすること。(規則性を理解する。)

- ② 音読して、古文のリズムに慣れること。
- ③ 現代文と対応させながら、おおまかな文意をとらえ、よく出てくる古語の意味を覚えていく。
- ④ 表現技法を確認する。(対句・係り結びの法則など)
- ⑤ 主語はだれなのかを考えながら読んでいくこと。
- ⑥ 助詞の省略もあるので、どんな助詞が必要か考えながら読んでいくこと。
- ⑦ 漢詩・漢文では返り点を理解し、訓読文を書き下し文に、書き下し文は訓読文に直せるように練習すること。
- ⑧ 有名な古典の作品名・時代・作者名については確認して、覚えておくこと。

[作文]

- ① 原稿用紙の正しい使い方を理解し、条件に従って正確な文字ではっきりと丁寧に書けるようにする。
- ② 文体(敬体・常体)のどちらかに統一して、書き進めること。
- ③ 指定された条件で書けるようにする。特に前段・後段の二段落構成で体験と意見を書き分け、とくに後段には自分の考えがはっきりと書けるようにする。
- ④ 予想される時間内に書き上げられるように、時間を計りながら書く練習をする。

* 国語の問題は長文、作文、漢字、文法、ことわざなどです。このすべての分野で有効なのは、**読書**です。長文の読解力がつくのはもちろん、漢字やことわざなども文章の中で確認できれば身につきます。ですから、できるだけたくさんの本や新聞などを読む習慣をつけてください。そして、知らない漢字やことわざなどが出てきたらすぐに調べる習慣をつけていきましょう。

自主勉強ノートの例

ページを2段に分けて、大切な箇所や語句は赤色ペンで書いています。テストでは、ほとんど長文問題です。一度解いたプリント等を解き直し、答えだけを自主勉強ノートに書き出すのも一つの方法だと思います。後から必ず答え合わせはしてください。同じ漢字を何回も繰り返し書くのは、効率が悪いと思われます。覚える漢字を一つずつ全部書き出し、それを暗記しながら書く方が多くの漢字が覚えられると思います。